



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月11日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東  
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 黒澤 秀男  
 問合せ先責任者（役職名） 総務・経理部部长（氏名） 山崎 正彦 (TEL) 048-798-0222  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,662	△12.7	62	34.6	57	35.2	46	19.4
27年3月期第2四半期	1,904	51.6	46	261.0	42	—	39	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	1.73		—					
27年3月期第2四半期	1.45		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,945	442	15.0
27年3月期	2,343	394	16.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 442百万円 27年3月期 394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,387	△2.2	152	264.3	128	78.7	109	108.4	4.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	27,152,585株	27年3月期	27,152,585株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	52,356株	27年3月期	52,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	27,100,375株	27年3月期2Q	27,102,142株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
5. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策により企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外景気の減速や円安による物価上昇の影響を受け、個人消費および景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社の関係するプラスチック加工業界は、主要原料であるナフサ価格が当第2四半期後半では低下する動きがあり、プラスチック原料価格の低下により、積極的な設備投資を展開するメーカーが存在する一方で、業界全体としては、プラスチック原料価格の低下を理由に製品卸価格を抑える動きがあり、客先の設備投資意欲を押し下げる要因が存在しております。

このような状況下、営業面では、インフレーション成形機事業においては、高機能フィルム成形機や巻取機等の周辺機器の受注が順調に推移しました。ブロー成形機事業においては、自動車部品を中心として精力的に受注活動を行いました。また、生産面では、海外生産を推進させるとともに、コストの低減や生産性の向上に努めましたが、大型機械の品質に万全を期するための試作や開発費用などが増加しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、大型機械の納入実績が複数台ありましたが、当初の予定より減少し、16億6千2百万円となり、前年同四半期と比べ2億4千2百万円減少（前年同四半期比12.7%減）いたしました。利益面につきましては、開発費用の増加により、目標の利益を確保できませんでしたが、コストの低減や生産性の向上による原価率の改善に努めた結果、営業利益6千2百万円（前年同四半期比34.6%増）、経常利益5千7百万円（前年同四半期比35.2%増）、四半期純利益4千6百万円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて33.0%増加し、2,203百万円となりました。これは主に、現金及び預金が105百万円、受取手形及び売掛金が254百万円、棚卸資産が194百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて8.1%増加し、741百万円となりました。これは主に、有形固定資産が新規取得などにより22百万円、投資有価証券の新規取得などにより32百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて25.7%増加し、2,945百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて29.0%増加し、1,725百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が163百万円、短期借入金が38百万円、前受金が158百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて27.3%増加し、777百万円となりました。これは主に、長期借入金が166百万円増加したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて28.5%増加し、2,503百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて12.1%増加し、442百万円となりました。これは主に、第2四半期純利益46百万円計上したことなどによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(原価差異の繰延処理)

従来、操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異については、四半期会計期間において繰延処理を採用していましたが、大型機械の受注の増加等による工期の長期化を主な要因として、年間を通じた操業度の平準化が図られ、四半期会計期間における原価差異の発生額の金額的重要性が乏しくなったことから、第1四半期会計期間より原価差異の繰延処理を行わず、原則的処理を採用することといたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前四半期会計期間については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ1,349千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	896,238	1,001,240
受取手形及び売掛金	446,471	700,796
製品	8,932	300,365
仕掛品	236,318	135,146
原材料及び貯蔵品	27,932	32,620
その他	41,041	33,997
貸倒引当金	△89	△562
流動資産合計	1,656,846	2,203,603
固定資産		
有形固定資産		
土地	486,501	486,501
その他(純額)	151,010	173,956
有形固定資産合計	637,511	660,457
無形固定資産		
投資その他の資産	13,054	15,535
投資その他の資産		
その他	50,061	79,757
貸倒引当金	△14,201	△13,806
投資その他の資産合計	35,859	65,951
固定資産合計	686,426	741,943
資産合計	2,343,272	2,945,547
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,356	819,180
短期借入金	285,054	323,762
前受金	283,723	442,476
未払法人税等	7,610	14,233
引当金	35,868	41,544
その他	70,257	84,788
流動負債合計	1,337,870	1,725,985
固定負債		
長期借入金	487,032	653,578
引当金	23,407	25,109
その他	100,516	98,869
固定負債合計	610,955	777,556
負債合計	1,948,825	2,503,541

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,193,611	△1,146,622
自己株式	△5,545	△5,572
株主資本合計	265,175	312,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,049	△4,453
土地再評価差額金	134,320	134,320
評価・換算差額等合計	129,270	129,867
純資産合計	394,446	442,005
負債純資産合計	2,343,272	2,945,547

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,904,353	1,662,062
売上原価	1,540,730	1,282,179
売上総利益	363,622	379,883
販売費及び一般管理費	317,266	317,486
営業利益	46,355	62,396
営業外収益		
受取利息	912	44
物品売却益	593	391
受取保険料	3,762	—
為替差益	193	1,381
その他	1,104	2,630
営業外収益合計	6,566	4,446
営業外費用		
支払利息	9,462	8,164
その他	645	808
営業外費用合計	10,107	8,972
経常利益	42,814	57,870
特別損失		
固定資産除却損	67	222
特別損失合計	67	222
税引前四半期純利益	42,747	57,647
法人税、住民税及び事業税	3,378	10,658
法人税等合計	3,378	10,658
四半期純利益	39,369	46,989



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	42,747	57,647
減価償却費	13,037	17,858
引当金の増減額(△は減少)	△29,805	7,959
受取利息及び受取配当金	△1,556	△359
支払利息	9,462	8,164
売上債権の増減額(△は増加)	△2,591	△95,570
たな卸資産の増減額(△は増加)	158,139	△194,948
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,512	175,698
その他	△11,015	△12,531
小計	170,905	△36,081
利息及び配当金の受取額	1,556	359
利息の支払額	△8,296	△6,857
法人税等の支払額	△19,345	△4,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,820	△47,480
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	16,003	18,000
定期預金の預入による支出	△17,600	△18,600
有形固定資産の取得による支出	△13,530	△16,438
無形固定資産の取得による支出	—	△1,474
投資有価証券の取得による支出	△316	△32,028
その他	△438	2,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,883	△48,202
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	△30,000
長期借入れによる収入	—	370,000
長期借入金の返済による支出	△125,364	△134,746
自己株式の取得による支出	△48	△26
その他	△3,122	△5,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,535	200,085
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,598	104,402
現金及び現金同等物の期首残高	819,292	878,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	799,694	982,440

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### 1 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	911,383	△26.6
ブロー成形機事業	658,682	22.5
リサイクル装置事業	47,095	△27.2
合 計	1,617,161	△12.3

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	634,626	△32.3	536,495	△40.1
ブロー成形機事業	1,155,530	96.6	1,124,756	191.8
リサイクル装置事業	13,035	△78.0	9,700	△66.0
合 計	1,803,191	13.8	1,670,951	27.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 3 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	648,773	△38.5
ブロー成形機事業	723,794	31.0
リサイクル装置事業	47,095	△27.2
メンテナンス事業	242,399	3.9
合 計	1,662,062	△12.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。